Shining Future

令和８年10月27日
第3学年だより

入試についてＱ＆Ａ　その２

Ｑ3　「専願」と「併願」とは何ですか。

Ａ　「専願」とは、合格（合格内定）となった場合、その学校の入学を確約できる出願方法をいいます。「推薦入試」「AO入試（自己推薦入試、特色選抜）」「県立大学附属周防大島高校の連携選抜」がこれに該当します。

「併願」とは、合格となった場合でも、その学校の入学を辞退することができる出願方法をいいます。

Ｑ4　「推薦入試」、「AO入試（自己推薦入試、特色選抜）」を受ける場合、他の高校の受験準備はできないのですか？

Ａ　できます。

・「推薦入試」、「AO入試（自己推薦入試、特色選抜）」は「専願」にはなりますが、合格の保障はないので、むしろ、他校も受験予定にするべきです。県立大学附属周防大島の連携選抜も同様です。
・もし「専願」で合格または合格内定したらその後の受験は辞退するのが原則です。

Ｑ5　「一般入試」は、入試当日に点が出たら大丈夫なのですか？

Ａ　大丈夫とはいえません。

・山口県公立高校の場合、選抜にあたっては『「学力検査」と「調査書の学習の記録」の成績は同等に扱う』と示されています。
・また、面接等の内容も十分に考慮するとあります。
・最後まで手を抜くことなく勉強しましょう。

Ｑ6　受験校はいつまでに決めたらよいのですか？

Ａ1　2学期末の三者懇談会で決定します。

・「私立」「国立」「県立（一般選抜か連携選抜か、一般選抜は専願か併願かも含め）」の学校・学科、「推薦入試」「AO入試（自己推薦入試、特色選抜、大島商船商船学科の体験学習による選抜）」については確定させます。
・「公立一般入試」もできるだけしぼっておくとよいです。
※目標を明確にし、情報に迷わされず、ひたむきに学習するのが進路実現の一番の近道です。

Ａ2　1月中にも希望者のみ三者懇談会はあります。

・この時は「公立一般入試」も決定です。ただし、2月に「志願状況調査表」の集計結果が発表されますが、それを見て変更することはできます。

Ｑ7　面接練習はどうしたらよいですか？

Ａ　11月より計画的に行います。

・日頃からの言葉使いが大切です。
・学級担任だけでなく、副担任・校長先生・地域の方などの前でも話せるように、思いをまとめておきましょう。

裏に続く

進路に係るお知らせ

アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度について

これは、主たる生計維持者をがんで亡くした遺児のための奨学金制度として、小児がんを発症した小児がん経験者を奨学生の対象として設立された制度です。経済的な理由により高等学校等への就学もしくは充実した学校生活が困難な方に対し、奨学金の給付を行うことを目的としています。

申請の希望がありましたら11月6日（金）までに学級担任に申し出てください。